







### 運送問題

運送問題は、戦時下の最重要問題の一つである。戦時下の運送問題は、戦時下の経済生活に深く関係している。戦時下の運送問題は、戦時下の経済生活に深く関係している。戦時下の運送問題は、戦時下の経済生活に深く関係している。

### 連絡船の輸送力

三月の夜行船などは乗客法定数超過

連絡船運送九船長、牧村愛之助氏の談

連絡船の輸送力は、戦時下の重要な輸送手段である。三月の夜行船などは乗客法定数超過。連絡船運送九船長、牧村愛之助氏の談。

### 傾斜四十度の難航海

世界の冬の暴風、進行性低気圧、異なる

傾斜四十度の難航海。世界の冬の暴風、進行性低気圧、異なる。傾斜四十度の難航海。

### 希望の日

各学校の入学期、卒業期が近い

希望の日。各学校の入学期、卒業期が近い。希望の日。

### 水管自動車へ二百圓

若草町の鍛冶職、藤井太郎氏の奇特

水管自動車へ二百圓。若草町の鍛冶職、藤井太郎氏の奇特。水管自動車へ二百圓。

### 甘餘萬圓

皮革會社損害、廿餘萬圓

甘餘萬圓。皮革會社損害、廿餘萬圓。甘餘萬圓。

旅客列車脱線、乗客三名軽傷

### 旅客列車脱線

乗客三名軽傷

旅客列車脱線。乗客三名軽傷。旅客列車脱線。

### 水管自動車へ二百圓

若草町の鍛冶職、藤井太郎氏の奇特

水管自動車へ二百圓。若草町の鍛冶職、藤井太郎氏の奇特。水管自動車へ二百圓。

### 甘餘萬圓

皮革會社損害、廿餘萬圓

甘餘萬圓。皮革會社損害、廿餘萬圓。甘餘萬圓。

### 希望の日

各学校の入学期、卒業期が近い

希望の日。各学校の入学期、卒業期が近い。希望の日。

### 傾斜四十度の難航海

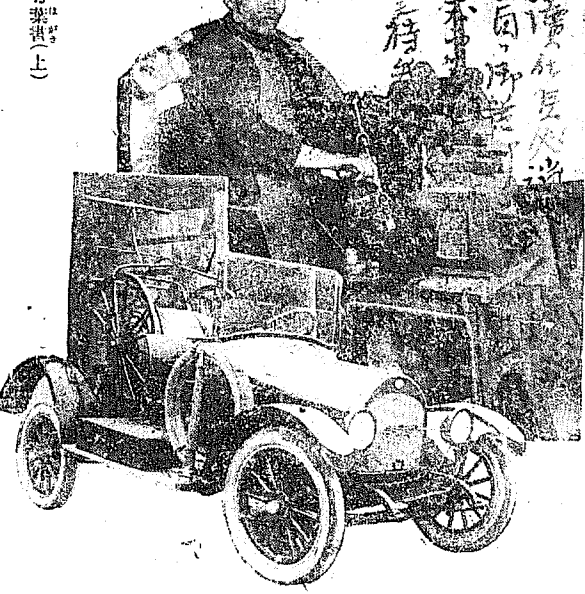
世界の冬の暴風、進行性低気圧、異なる

傾斜四十度の難航海。世界の冬の暴風、進行性低気圧、異なる。傾斜四十度の難航海。

### 連絡船の輸送力

三月の夜行船などは乗客法定数超過

連絡船の輸送力。三月の夜行船などは乗客法定数超過。連絡船の輸送力。



運送問題は、戦時下の最重要問題の一つである。戦時下の運送問題は、戦時下の経済生活に深く関係している。戦時下の運送問題は、戦時下の経済生活に深く関係している。

活動寫真器具、家庭用小形活動寫真、寺田清四郎商店

外科一般花柳病科、島崎病院

文藝俱樂部

胃腸病と其療法、村井滋齋先生発見

新築、中央婦人科専門

胃腸病と其療法、村井滋齋先生発見

胃腸病と其療法、村井滋齋先生発見

胃腸病と其療法、村井滋齋先生発見

胃腸病と其療法、村井滋齋先生発見

胃腸病と其療法、村井滋齋先生発見

胃腸病と其療法、村井滋齋先生発見



















サイパン島に存在せる古城趾

事は想像するに難からぬ事でも

價額數千圓に達

人  
聽

鬱陵島は珍ら

北戀陵島は一月二十七日以來隆

通學する者あり 普通學校生徒四

の内地人と協議の上是等通學生

一名求馬もとば、さす

同日午後九時頃東萊郡南面南

水して金斗先(四)金斗燐(三)十

漂流中救はる

外三名は朝鮮式の小舟にて一月

二 虫谷雨よる

昨年十二月二十日夜二名の強盗  
し弘麟の蒲團を打被せ毆打した

り其筋にて犯人嚴探中賊の一名

龍山漢江通り十六番地先に飼

鉄くわで頭とう骨こつを碎くだく

南北寄郡上車書面水西里金内旭

たるものか突然起き上りて朝鮮

人は直ちに方村憲兵派遣所に退

合はせたる四名の猛獸捕獲員

面牆 靦里の許氏(三)同里蔡

屍體を密葬したることを此程連

を引取通の手續を急へ送致せ

朝鮮支那に倣效(二九)が自宅

を<sup>こ</sup>負<sup>お</sup>ひ<sup>き</sup>共<sup>き</sup>愛<sup>あい</sup>堂<sup>どう</sup>醫<sup>い</sup>師<sup>し</sup>宅<sup>たく</sup>にて<sup>たく</sup>應<sup>おう</sup>急<sup>き</sup>手<sup>て</sup>

の眞鍮製皿一個紛失し取調べ中

件ことの乞食こじきを自宅じたくに引致いんちして取調とりしら

ち屍體を密葬したること端な

何慈城郡長士田士城田

男女學校にては九、十の兩日午後

開催する山なるが鐵道局にては此

里内の虎、漫里々長を勧め居る内、

根容は十二錢の調定額なりしを何


親<sup>おや</sup>子<sup>こ</sup>三名<sup>めいさん</sup>相<sup>あひ</sup>擁<sup>よう</sup>して飢<sup>う</sup>と寒<sup>かん</sup>とに涼<sup>な</sup>

れも金一圓以下其他衣類雜品等

座 非常に好道氣

切城懸山姥子

少女浪花節青田奈良子加入し能江錦と掛



貝  
柳  
溪  
翁  
林  
末

約二里貧弱な人車で寒風に晒さ

者であつたが歸途鮮人別當の逃  
つて爲力乗馬の果達意の如くな

あるべし、警戒區域全羅南道慶尙南

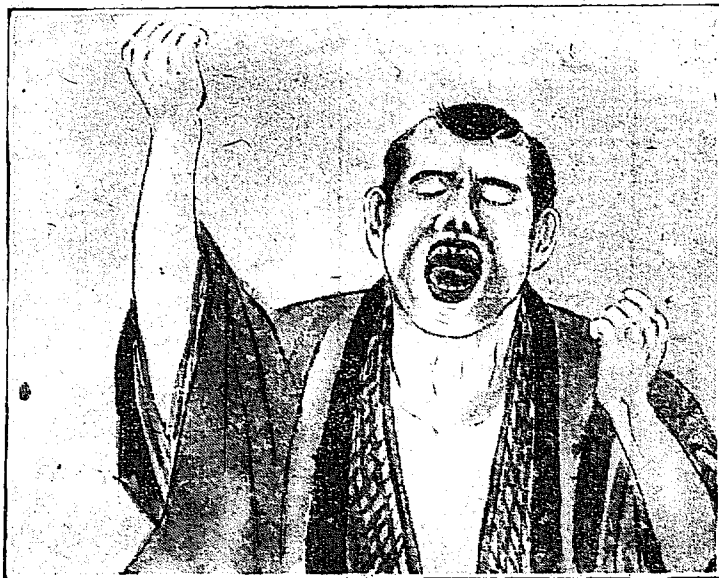


怒濤の月

七十三 小林蹴月作 武内桂舟畫

探の一念「十四」の五  
松崎は、固より銀さんと組代との間に、不思議な因縁の資はつて居やうとは、夢の夢にも知らず筈がなかつた。  
「はい、は、出入の捕獲さんかね?」それぢや別に疑支へもなからうから一服喫はして貰ひませうね 棟梁、御免を蒙りますよ」  
外套を脱いで、お吉女將の薦るむ座蒲團の上に膝下つた。  
「さあ、樟願お開ひなく、俺は八丁堀の銀次郎と云ふ、なにほんの叩き大工」なんて御生いしますが、能く此處

が、銀さんは、その間でも絶つ中腹の中で小耳に挟んだ組代と云ふ名前に就いて、さまたゝの骨髄を下して居たのである。けれど、遺失たそれが自當の組代であらうとは、什うしても考へられない、彼の組代ならは、お久婆の襪に依て見ても、現に今、監町の花尻とか云ふ男御家へ續紙望みて、お美奈全に上つて居る事が亂かであるから、産米の狂風が、ごんなに烈しく吹き廻した所で、こんな所へ來て、まじくして居る理屈はないのである。と云つて若い娘で組代と云ふ名前前の……組代



が、機嫌半ば銀さんを溶かしに掛つた。肝腎の銀さんよりも、側に居る松崎の方が、びくりと變に顔の或る部分に機械的の皺を打たせた。

「おい、女將、彼さんのお話に立ち入る次第ぢやないか、前橋から生血さ云ふのは、近來東京、山梨の山村山手、日暮里電停で一九三三年三月三日、自決したのだよ」

齒科 橋本 補歯醫院  
齒科醫學士 橋本清次郎

物語りでもありさうなコトだね。それに附も五番町と云は、僕的主人の愛原家とは、極めてお手近なんだ

たさうである。前線に在る兵士で味方とか黒猫とか獨逸の劍とか其種々な徽符を持つてゐないものは殆どないさうである

▲兵士の間には此外にも諸々の迷信がある、例へば或者者は必ず心懸日に寝る、何れやらと確信し、ある、他の者は煙草に火をつける前に一本のマツチで、時に三本の煙草に火を着けるのを思ひである、また、馬鹿に連繫する出来に鳥を見るや蛇に無事であることが出来ると思じてゐる、それから天にて戦死しないといふ場合には其の犠牲の如何の恐ろしい限もなく如何なる危いをも冒し

[illegible]

女將と誼の合口だもんで、それから折々抑うして、油此に選つて来ますんでね、はつ、はつ、  
 銀さんも初対面のお客と思つたので、幾干かは町中に挨拶を返したの  
 であらう。  
 「はあ、然うですか、銀次郎さんと被仰るんで、僕松崎兼吉と云ふ桑原鐵山事務所の支配人を遣つとる人間で、ですから、以後よろしく」  
 「失禮ですが、一ツ如何です。女將を洗を烏渡貸して呉れないかい」  
 「いつや、僕は、折角なんですが、報から飲みてやけて居るもんで、から」  
 「まあ、松崎さん、榎梁が折角をお交際を酬はうと云ふんですもの、お銀次でも受けてやつて下さいよ」  
 榎梁、五の献酬が嫌つて来たが同時に、三人の誼の世間體も、既に心から花が咲き出したのである  
 なんて云ふ名前が、然う行く先々に矢張り觸れた名前でもないやうだが、何ぞかして、その本尊さまの姿なりとも拜んで見たいものである……それから、品に依たら、松崎なり又女將なりの口から、毛少し種いく嬢の身上を聞いて見たいものであるが、何とも誼の糸を引出す工夫はないものか、知れ、銀さんは坊がよろこぶ  
 木村屋バンに  
 添へて、まじしギヤラメルを添へて、  
 酒を飲む方の興味よりも反つて此の事にばかり頭を悩まして居るのであるつた。  
 「榎梁、お前さんは、些つとも酔はないぢやありませんか。箱桶から生血が何とやら云ふ面白くもないお通夜の體なんかは、悪骨忘れて下つて思ふさま嘔氣なす腹になつたら好い」

[illegible]

良藥 腦病



肥病良藥

田博士を親  
め、森田、  
飯島、藤田、  
内田、山田、  
徳田、氏等十  
餘名の諸大家  
か、協力證明  
は推奨せらる  
る本品は、最  
貴藥の營養  
素リッパンを  
含有する  
なり、故に、  
此の良藥  
神經衰弱、頭  
暈、記憶力減  
退等の諸病者  
は、最經の試  
して本藥を服  
用せ、體格を  
實ら、服用量  
めて少くして  
効能極めて大  
なり

樂田 三十錢 五十錢 六十錢  
電話 八十五號  
東京 中定太郎  
大阪 中定太郎  
電話 安土町 電話 西區  
常川 有 常川 有 常川 有

月經  
其シ内閉止經過四五ケ月  
流經ニ應用ノ目的ヲ  
實ナル作用ノ

內科  
小兒科  
花柳病科  
入院隨意

外科  
京城長谷川町

安東病院

電話七三乘

●返信券添へ照會あれ詳細回答

[illegible]

病院等に於て賞賜配劑せられ  
つゝある高貴なる事を保證  
す若し前述の證言に違へる事  
を發見せらるゝ時**百圓**進  
は分所料として金**百圓**呈進  
大

●あらゆる治癒を講ずるも効なき患者兎に角一度相談あれ

**にせ物** 隆盛に注意、前會の盛衰を察する東京

**京城** 大連青島其他到處僑物を賣る奸商あり

前會製劑を御購求の諸君は

**大阪有田** 鐵製を御買取可被下候

痔核 痔瘻 脫肛 直腸脫 痔出血 裂痔 外一級  
京城長谷川町安東病院內 電話七三番

久枝肛門病專門醫院

最新久枝式痔疾根治注射療法參考書中込進呈  
遠隔地郵券二錢を要す

特約店 平壤 桑田支店

**貯蓄預金** 元金百圓ニ付日歩壹錢三厘金  
壹錢以上何程ニテモ 御預申候  
株式會社長崎貯蓄銀行代理店



諸預金貸付爲替銀行  
二取扱可申候

同

龍山出張所

會社 十八銀行 京都支店

京成黄金町電話四〇番五八四番  
振替 貯金 口座 京城八一四番

龍山光町三丁目電話一八番

一般ノ業務ハ精々御便利

小内  
兒科科

京城日出小學校前  
多々見  
電話九四〇番

入院隨意

誰人もの云ふ様に

内外各國の

美味<sup>ミツク</sup> 早寝<sup>ハネ</sup>  
 滋養<sup>シヨウ</sup> 早起<sup>ハキ</sup>  
 蜂<sup>ハチ</sup> 早<sup>ハヤ</sup>  
 印<sup>イン</sup> 起<sup>キ</sup>  
 香<sup>カウ</sup> と  
 寗<sup>ニン</sup>  
 葡<sup>ボ</sup>  
 廿四個受領

◎朝飲めば 其の一日元氣よく  
◎晚飲めば 疲れは癒りよく睡る

本酒は優良生葡萄酒を素とし補血強壯料を主成分として精製せる優良品にして

毎朝夕一杯づゝ飲む事で  
全國到處  
最も活

消化と

食前食後の時  
 讀書執勞の時  
 旅行運動の時

めいあ

毒けし  
佐  
丹



●頭痛目眩の時  
●腹痛の痛む時  
●倦怠感過労の時

[illegible][illegible]

電話五十九番  
○芝罘大連行 開東都船務會金福  
波 共同汽船昨出帆  
第三 共同丸 二月九日正午後入港  
○芝罘大連行 開東都船務會金福  
波 共同汽船昨出帆  
第三 共同丸 二月九日正午後入港

仁川代理店  
春日町(電話二四四七番)  
元山代理店  
山田一丁目(電話三八二〇番)  
京城取次店  
河村運送店

酒  
を  
町本京東  
兵利藤近

激なる賣行を呈しつゝあり  
 處の藥店酒店にありて  
 衛

消化消毒  
頭腦明快  
元氣旺盛

力

氣分爽快  
即時回復  
イイ氣持

金言

百度射し事  
より一度外  
れし事を思  
へ(西條)

汽船	釜山	出帆廣告
門司	神戶	大阪行
○和歌丸	二月十九日午後五時出帆	
○小倉丸	二月十八日午後四時出帆	
○新津浦	二月十八日午後六時出帆	
○西洲	二月十六日午後六時出帆	
○第三	二月十五日午後六時出帆	
○第一	二月十五日午後六時出帆	
須奈	二月十五日午後六時出帆	
原野	二月十五日午後六時出帆	
寄坂	二月十五日午後六時出帆	
博多	二月十五日午後六時出帆	
多行	二月十五日午後六時出帆	

○天眞丸  
每月二日廿六日十四日  
月廿一日廿九日  
時出帆  
金山港立寄町  
本船取扱所 大浦 回 酒部

汕頭丸	二月十四日
安東丸	二月 日 午後五時出帆
木通丸	二月二十日 午後二時出帆
信濃丸	三月 日 午後二時出帆
安東丸	三月 日 午後二時出帆
大連丸	二月廿五日 午後二時出帆
大連丸	二月十一日 午後二時出帆

○安 東九	○高 麗九	○安 山九	○釜 山橫濱行	湖南 九九	○清 江浦南行 (元山出帆)	○印 月城距臨津一寄港捕鯊不寄港	○安 陽九	○大 型丸
三月十六日正午出帆	三月十五日正午出帆	二月五日正午出帆	二月一日正午出帆	二月一日正午出帆	二月廿三日後正時出帆	二月廿三日後正時出帆	二月廿三日後正時出帆	二月廿三日後正時出帆

○上海、基隆、打鐵行（大連出帆）  
基連丸  
二月十一日午前六時出帆  
二月十四日後四時出帆

御注意  
●船中飲食及び市販飲食物品は本館の車  
運搬時に所定料金を徴せしめられ、又本館の出  
賃に依り△印は船客専用とす。X印は一等  
切符發賣所

大阪商會社仁川支店  
電話二〇三番五支店  
内國通運會社支店  
電話七八番

京城切符發賣所

**朝鮮郵船**  
 本埠 電話長一五五二二三一  
 總發售處及社外埠代理店初春奉天店  
 官廳前大馬路次松原運送店(七〇七)

〇〇〇  
 鏡昌和  
 城平城  
 九九九  
 元山より江戸まで  
 一月 二月 三月  
 元山發

[illegible]

○順天丸 三日巨痛止 才油發  
各處湧山湯水口留水より湯山行に渡す  
○慶興丸 二月 日 木浦發  
竹田港より所山行に渡す  
○慶興丸 二月 日 木浦發

○公州大	○江原大	○慶才丸	○各津渡
三月二日	二月八日	二月十一日	二月十一日
本浦發	仁川發	仁川發	仁川發